

報告 2

真菅地区乗合交通 令和 6 年度実証実験の実施に
ついて

令和 6 年度 第 1 回 檀原市地域公共交通会議

報告 2



真菅地区乗合交通 令和 6 年度実証実験について

令和 5 年度実証実験のアンケート結果を踏まえた運行

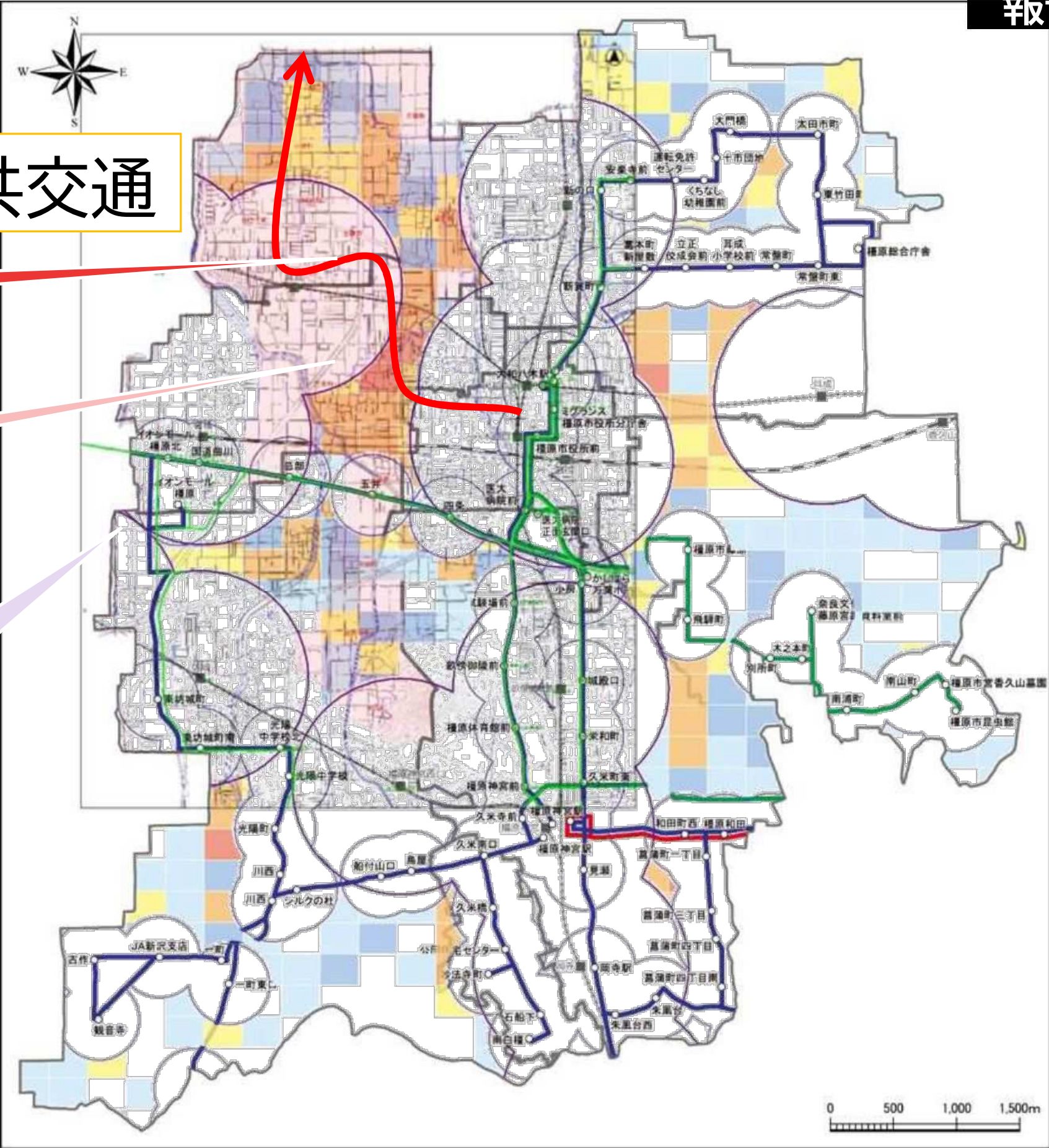


真菅地区と公共交通

バス路線(H3廃止)

真菅地区(13町)

《 勢 圏 》
駅800m
バス停300m



R5運行概要

運行内容は、地域・関係者との協議により決定しました。

名称・愛称	乗合ますが号（仮称）
運行根拠法	道路運送法第21条（乗合旅客の運送）許可
運行日	75日 10月2日～12月30日 月～土曜日（日曜日・祝日は運休）
運行時間	9時～17時
運行事業者	タクシー協会檀原支部
運行形態	定時定路線
ルート	北部 飯高町・小槻町から 【月・水・金】東廻りルート、【火・木・土】西廻りルート 南部 大谷町・慈明寺町・寺田町・五井町から 【午前】病院ルート、【午後】買物ルート
便数	北部 1 2 便（午前4便、午後8便） 南部 8 便（午前4便、午後4便） 期間計1,500便
運行車両	セダン4人乗り（運転手除く） 2 台（各ルート 1 台）
運賃	1乗車300円／人

利用者アンケート(北部33人、南部6人)

9割以上が65歳以上の高齢者。

○北部地域について

- 6割以上が運転免許がない。7割以上が家族と同居しており、家族がいる日であれば送迎してもらうが、不在の日は他に移動手段がないためにますが号を利用するケースが多い。
- 「安全・安心して移動できる」「行きたいところへ行ける」などの利点から9割以上の方が今後も利用すると回答。
- 利用者は飯高町、曾我町、小槻町の順が多い。

○南部地域について

- 8割以上が運転免許あり。自分の運転する車やバイクでの移動が多いものの、今後は運転を控える予定の人が多い。
- 「安全・安心して移動できる」「行きたいところへ行ける」「利用しないとなくなるから」という理由でますが号を利用し、8割以上の方が今後も利用すると回答。
- 慈明寺町の利用者が多い。

○利用者を増やすアイデア

- トランク利用、手押し車の容認、八木方面への運行、低料金化

地域住民アンケート(北部457人、南部202人)

- 将来的に利用することを考えてはいても、現状では他の移動手段があるためにさすが号を利用していない方が8割超に及ぶ。
- 約6割が65歳以上の高齢者だが、65歳以上の約3割は今後運転を控えたいと考えている。
- 65歳以上の高齢者の約3割が「行きたいところへ行けないため」利用しなかったと回答。
- 75歳以上で自分で運転できず送り迎えできる家族や知人がいないという人が1割以上いる。

○よく出かける場所【多い順】

≪北部住民≫①スーパーヤオヒコ、②オークワ檀原真菅店、③真菅駅、
④ウェルシア檀原中曽司店、⑤スーパートライアル檀原店、
⑥大和八木駅、⑦小槻町郵便局

≪南部住民≫①イオンモール檀原、②オークワ檀原坊城店、③ヨシムラ坊城店、④大和八木駅、⑤万代坊城店

○利用者を増やすアイデア

- トランク利用、手押し車の容認、八木及びイオン方面への運行、低料金化、停留所が遠い

R6ルート案

R 5 からの変更点

- 中部エリアの追加【曾我町、中曾司町のニーズに対応】
- 車両2台（北1 / 南1）→ 4台（北1 / 中1 / 南2）
- ルートの見直し
- 各コース間の乗継ぎ
- 曜日、午前・午後でコース変更
→ 同一ルートを毎日走行
- トランク利用可【購入物品や手押し車の格納】
- 停留所の追加：ミグランス、イオンモールなど
- 商業施設での割引サービス検討

